

# 農地であつなごろう・地域と学校

## 坂井市立 加戸小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	4回
地域及び家庭への学校公開	7回 7日

#### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	22人
授業ボランティア(含:低ボラ)	約180人
登下校支援ボランティア	約900人
その他( )	人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「 ふるさと教育 」
---------------

#### 具体的活動内容

『ふるさと教育』 広大な農地に囲まれた学校の特色を生かす！

加戸小学校はかつて「勤労生産学習」の研究発表を行った歴史を持ち、その当時の児童が成人して、地域で専業農家として、あるいはJAをはじめとする農業関係の仕事で活躍をしている。

こういった人たちに、JA青壮年部加戸支部として、加戸小学校全学年の教育活動・行事の中の「農」に関わる部分の指導支援を、個人ではなく団体として引き受けていただいている。この形は、昨年JA青壮年部加戸支部の方から提案していただいていたものである。

学校行事と指導支援して下さる方の

の間で、日程調整に苦労することが多かったが、集団で引き受けていただいたので、大人数の中でどなたかが対応していただけるようになり、支援のあり方は分厚くきめ細かくなった。

<具体的な活動内容> 全学年：0.3haほどの農地をお借りしているうち、その半分を利用してサツマイモを栽培(残りはスイカ栽培): 品種選定、畝づくり、をしていただいた後、全校行事で「植え付け」を行い、秋の収穫を目指す。その間の水やりはスプリンクラーなどで管理をお願いします。10月に全校で収穫。収穫祭では焼き芋を行い、青壮年部の皆さんをお招きして感謝状を渡した。その後、畑はトラクターで開墾していただいた。他に 4年生の米作り、 3年生のスイカの栽培、 学校のヘチマ・ゴーヤによる緑のカーテンの栽培指導、 2年生の鉢植え野菜、 1年生のミニトマト作りなど。他に地域の方からソラマメ・カキなどの果樹の収穫に招待されることもあった。また、200メートルほどの距離にある公民館では、専用の厨房があり、毎年そば打ち体験教室が開かれている。



成果と課題 加戸小学校の農業体験に関しては、十分すぎるぐらいの支援体制があり、これはJA青壮年部という集団で引き受けていただいているので、継続性もあり、理想的な体制である。地域の農業従事者の皆さんが、地域の産業としての農業に親しむ子どもに育てようという熱意があり、これがうまく学校の教育活動とつながっている。今後は教職員の関わりを充実させていきたいと考えている。